



第4章

計画の基本構想

第4章 計画の基本構想

1. 計画の基本方針

本市の観光振興においては、観光資源の発掘・創出・活用、PR、ブランド化、受入体制の強化により、本市の観光価値を高めることが重要です。そのためには観光客が本市を楽しむ以上に、市民が本市の魅力に気づき、自らが誇りに思い楽しむことが出来る観光でなければなりません。

観光資源の発掘・創出・活用

本市に存在する自然、歴史、伝統、食、大地の上に広がるあらゆるものが本庄の観光資源に他なりません。その中でも、その根底に流れる郷土への思いは、あらゆる資源を繋いでいく重要な役割を果たしています。本市を大切に思う気持ちが、誇りとなり、人々を呼び込む原動力になっていきます。本計画では、そんな郷土愛にあふれる、魅力ある観光資源の発掘・創出・活用を推進します。

本市の魅力をPR

インターネット社会では、観光情報の価値・流れが大きく変化し、さまざまな情報が簡単に手に入る社会になりました。その一方で、情報の中心には人から人への口コミが根強く残っています。様々なICT（情報通信技術）があふれる時代の中であって、より人々の力で、人は動くようになっています。本市に暮らす人々が、本市の情報を発信することに価値が生まれ、本市の魅力を一番に知っているのは市民であることを認識することが重要です。まずは、本市の魅力をPRすることを推進することが情報発信強化の第一歩です。

ブランド化：本市の価値向上

本市の資源それぞれの特色や歴史などを紐解いてみると、実に個性的なものがたくさんあります。つながることでより魅力が出てくるもの、時には、地域全体を眺めて相反するものとして比較してみると、さらにそれぞれの個性に磨きがかかるものなど、その組み合わせも様々です。本市の魅力ある資源を磨き上げ、その価値を市内外で評価されるようにしていく流れが必要です。観光によって、本市の資源はもちろん、本市そのものの価値が向上し、訪れてみたいまちから住んでみたいまちへと評価が変化していきます。その点を十分理解した上で、優良な特産品の開発・普及や本市の価値向上のためのブランド化を推進します。

体制づくり

観光が創り出す“非日常と感動”は、人の心の中にしか生まれません。どんなに美しい自然の風景も、観る人、感じてくれる人がいなければ、そもそも成立しません。本市の魅力を探し、伝え、磨くことも重要ですが、観光資源を用いて、観光客へ“非日常と感動”を提供する体制の整備も重要です。その体制の中心に存在するのが市民です。市民が観光に興味と関心を持つことが重要であり、市民の力を活かす組織体制が整うことで、観光客を受け入れることが可能となります。本市の観光振興のため、資源を活かす体制づくりを推進します。

2. 計画の基本戦略とKPI

基本戦略と重点施策

計画の実践の基本戦略は以下のとおりです。

1. 観光資源面 ～魅力ある観光資源を発掘・創出・活用～

地域の文化を感じることでできる伝統ある祭り、行事、郷土芸能などの保存を図るため、維持管理や後継者の育成を支援します。また、本市の既存観光資源の活用として、体験型の観光を推進するため、未利用の資源を掘り起こし、取組を市民に根付かせ、観光資源を積極的に活用する取組を支援していきます。

<重点施策>

- 1-1 観光資源づくり・創出
- 1-2 体験型観光づくり

2. PR面 ～市内外へのPR強化と、ネット&国際化対応～

本市における観光に関する情報を、市内外へ積極的かつ継続的に発信していきます。適切な情報を的確にターゲットへ伝えるための情報発信のあり方や広域連携による情報の見せ方、情報発信に関する技術について研究します。また、今後増加が見込まれる訪日外国人観光客への情報提供も進めます。

<重点施策>

- 2-1 拠点づくり・広域連携
- 2-2 情報発信の強化

3. ブランド面 ～観光ブランド化を通じた満足度の向上～

観光に関する取組を短期、中期、長期に分類し、取組の優先順位を定めます。その取組をテーマやストーリーに乗せて進めることや、アクセスの向上を推進することにより、市内外における観光満足度を高めていきます。さらに、観光による収益モデルを検討し、ブランド構築を行います。

<重点施策>

- 3-1 ブランディング
- 3-2 アクセスの向上

4. 体制面 ～市民協働による推進体制の構築と連携強化～

本市における市民が主役となる観光推進体制の構築や、受入体制を整備します。また、広くさまざまな団体や事業者と連携を可能にした取り組みやすい方策を打ち出します。

<重点施策>

- 4-1 官民協働の仕組づくり
- 4-2 組織体制・連携強化

この4つの基本戦略を軸として本市観光を推進します。

KPIの設定

本計画を推進するため、以下のような目標（KPI）を設定します。

成果指標	現状値 平成28年 (2016年)	目標値 平成39年 (2027年)
体験型観光メニュー登録数(件)	0	50
観光入込客数(人)	700,187	800,000
観光満足度(%)	73	83

キャッチコピー

本庄市として観光にしっかりと取り組んでいく「姿勢」、地域の魅力を再発見し、さらに美しく磨いていく「意欲」、他所から評価していただけるような本庄市を目指す「謙虚な心」をあらわすキャッチコピーを、以下のように決めました。

見つけよう、感動。伝えよう、魅力。

～みんなで織りなす本庄絵巻～